

Epochal

VOL.40
2026 SPRING

熊本から世界へ――

半導体・シリコンアイランドの再興目指す くまもとサイエンスパーク始動

熊本都市圏・セミコンテックパーク周辺のアクセス向上へ

世界とつながるアジアゲートウェイ

熊本県内の工業団地整備状況

くまもとの立地環境のご案内



CONTENTS

04 半導体・シリコンアイランドの再興目指す くまもとサイエンスパーク始動

半導体関連企業が熊本へ続々と進出
進む県外企業の設備増強

08 熊本都市圏・セミコンテックパーク周辺の アクセス向上へ

10 世界とつながるアジアゲートウェイ

12 熊本県内の工業団地整備状況

14 活躍する誘致企業

社会インフラを根底から支えるマザープラント
カナデビア(株)有明工場
八代から全国へ次代の住環境を拓く
YKK AP(株)九州製造所

16 くまもとの立地環境のご案内

万全の支援体制
ビジネスマッチング、技術・開発研究をサポート
熊本県の人材確保支援

20 NEW FACE(新会員紹介)

22 2025年度事業紹介

表紙およびP4-5のイラストは、未来の「くまもとサイエンスパーク」の姿をイメージし、AIを活用して制作したものです。人と技術が共に歩むこれからの熊本の姿や、未来の可能性を表現したものです。



日本GLP(株) GLP熊本大津 (画像提供:日本GLP(株))



東京応化工業(株) 阿蘇工場くまもとサイト
(画像提供:東京応化工業(株))



(株)フェローテック 熊本工場 (画像提供:(株)フェローテック)



三菱電機(株) パワーデバイス製作所 熊本事業所
(画像提供:三菱電機(株) パワーデバイス製作所)



東京エレクトロン九州(株) (出典:東京エレクトロン(株))

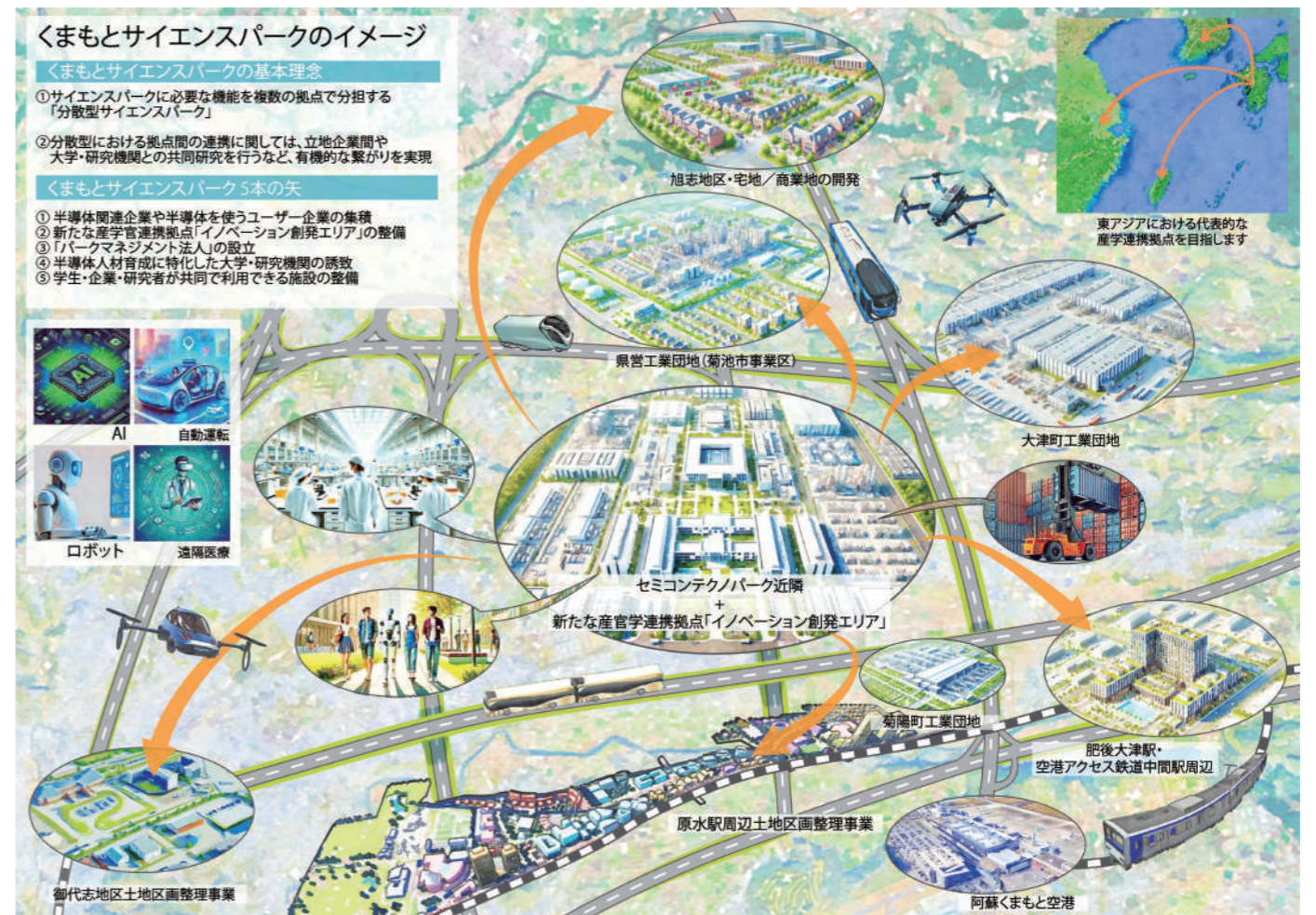
熊本から世界へ—— 「くまもとサイエンスパーク」始動

2021年、世界的半導体企業である台湾積体回路製造(TSMC)は、
菊陽町に日本初の大型工場の立地を表明、2024年から操業を開始した。
熊本県ではこれを契機に、先端産業集積による地域経済の発展を目指すこととなり、
2025年3月に「くまもとサイエンスパーク推進ビジョン」を策定、
産学官連携によるイノベーション創出拠点の形成を図る構想を打ち出した。

従来、台湾・新竹に代表されるようなサイエンスパークは、
政府が一体で大規模用地・管理機能を整備する方式が一般的だが、
熊本では複数拠点で機能を分担する
「分散型サイエンスパーク」とする方針を掲げた。
これはエリアごとの強みを活かしながら企業・研究機関・大学を誘致し、
県内各地へ波及効果を生み出すことを目的としている。
更には東アジアという地理的優位性を活かし、
熊本から世界に通用する産業集積の実現も目指す。

半導体・シリコンアイランドの再興目指すくまもとサイエンスパーク始動

かつて「シリコンアイランド」と呼ばれた九州の地が、再び世界の中心へと躍り出ようとしている。その心臓部となるのが、熊本県が進める「くまもとサイエンスパーク構想」だ。世界最大の半導体受託製造企業（TSMC）の進出という「100年に一度」の好機は、単なる工場誘致で終わらず、持続可能なイノベーションの「ゆりかご」となる可能性を含め、地域の期待は高まってきている。



TSMC進出の好機 「100年に一度の好機」

2021年11月のTSMCの熊本への進出表明は、日本経済における劇的な転換点となった。TSMC進出に伴い、熊本県は2023年3月に「くまもと半導体産業推進ビジョン」を策定。同年10月に策定した「新大空港構想」では、熊本県が目指す姿として「安定した半導体人材の確保・育成」、「半導体イノベーション・エコシステムの構築」、「交通ネットワークの構築」、「産業力の強化」などを掲げた。このような熊本県が目指す理想の姿を実現するため、台湾のサイエンスパークを参考に、自然環境と調和した、熊本に合った形での施策が、「くまもとサイエンスパーク推進ビジョン」だ。

熊本県が目指すサイエンスパークは、台湾のように広大な土地を一箇所に確保するのではなく、既存の産業集積を活かした「分散型サイエンスパーク」である。現状では菊池市、合志市、大津町、菊陽町にわたる約340haのエリアを想定しているが、これはエリアごとの強みを活かしながら企業・研究機関・大学を誘致し、県内各地へ波及効果を生み出すことを目的としている。そして「くまもとサイエンスパーク」の具体的な取組みの方向性として「5本の矢」を掲げている。

① 半導体関連企業や半導体を使うユーザーの集積

半導体の前工程企業・後工程企業、装置メーカー、それらのサプライチェーンを構成する川上から川下までの企業など半導体関連企業を幅広く、かつバランスよく誘致。さらにAI、自動運転、ロボット、遠隔医療など、半導体を利用するアプリケーション側の企業を誘致。製造と活用を両輪を回す。

② 新たな産学官連携拠点「イノベーション創発エリア」の整備

企業、大学、研究機関が集う交流拠点を官民連携で整備。様々なプレーヤーによる知の化学反応を促す「仕掛け」を組み込む。2026年度から民間の事業推進パートナーと連携し本格的に取組みを推進。

③ 「パークマネジメント法人」の設立

「イノベーション創発エリア」の維持・管理・運営や進出企業に対する行政手続きのワンストップサービス、ビジネスマッチング等を提供する運営組織を設立する。

④ 半導体人材育成に特化した大学・研究機関の誘致

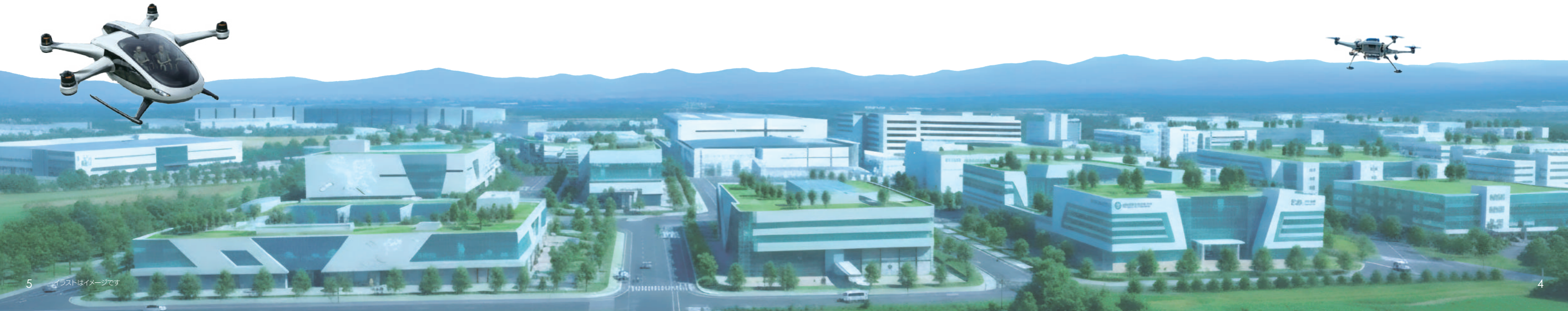
「半導体人材育成特化型」の大学や学部への誘致、あるいは海外の研究機関との提携を目指し、次世代の「人づくり」を加速させる。

⑤ 学生・企業・研究者が共同で利用できる施設の整備

共同利用型クリーンルームや最新の研究設備を、スタートアップや学生が共同で利用できる環境を整え、研究開発・実証事業を促進させる環境を整備。

さらにサイエンスパークを支える施策として、①生活・住環境の充実 ②交通を始めたとする関連インフラの充実 ③物流機能の向上 ④地域のための共同研究 ⑤国家戦略特区の活用を挙げており、サイエンスパークを核にして、将来的には、熊本空港南側で進む、ライフサイエンスをテーマとした「Uxプロジェクト」との連携を見据えての展開や、中九州横断道路の整備完了を背景に、県南エリアにも波及効果が及ぶよう、長期的・広域的な取組みとして拡張を図る見通しだ。

また九州地域戦略会議が「新生シリコンアイランド九州グランドデザイン」で示した「イノベーション・マルチハブ」のビジョンに沿って九州各地で整備が進む各拠点と連携。最終的には東アジアにおける代表的な産学官連携拠点としての未来像を描いている。



半導体関連企業が 熊本へ続々と進出—— 進む県外企業の設備増強

県内で半導体関連の新工場の稼働が相次いでいる。生成AIの普及や産業機器・家電・自動車などのスマート化が進み、需要を押し上げ市場は拡大傾向に入ったと言える。各社は新工場を拠点に生産体制の強化などに取り組んでいる。主な進出企業をまとめた。



様々な企業の新工場が立地するセミコンテクノパーク周辺

Japan Advanced Semiconductor Manufacturing

2024年末に第1工場が生産開始し、2025年10月に第2工場の建設が開始。その後、3ナノ半導体の生産に計画変更する意向も表明されている。

三菱電機㈱

パワーデバイス製作所熊本事業所
菊池市泗水町の三菱電機パワーデバイス製作所・泗水工場内に次世代の「SiC（炭化ケイ素）パワー半導体」を製造する新たな工場を建設。2025年11月から稼働を開始。

東京エレクトロン九州㈱

2025年10月に合志市福原の既存工場の横に新開発棟「プロセス開発棟」が完成。次世代開発のあり方を実現するため、デジタル技術活用による開発の高度化や高効率な開発オペレーションを行う。

ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング㈱

合志市にスマートフォン向け画像センサーの増産に対応する新工場を建設中。敷地面積は約37haで今期中の建物の完成を見込んでいる。

東京応化工業㈱ 阿蘇工場くまもとサイト

菊池市旭志川辺の県営工業団地「菊池テ

クノパーク」に進出。半導体の製造過程で欠かせない高純度化学薬品の生産を本格的に開始する。

富士フィルムマテリアル マニュファクチャリング㈱

菊池郡菊陽町原水の生産拠点で、半導体表面を均一に平たん化する研磨剤「CMPスラリー」の製造設備を増強したほか、イメージセンサー用カラーフィルター材料製造の設備を導入した。

フェロテック㈱熊本工場

菊池郡大津町杉水に、敷地面積は約3万㎡、2階建てで延べ床面積約14600㎡の工場を建設。約480㎡のクリーンルームを設置し、半導体製造装置や部品の洗浄や修理、メンテナンスなどを行う。

分散型サイエンスパークを担う 近隣自治体別の拠点開発

「くまもとサイエンスパーク」は、特定の広大なパークを整備するのではなく、既存の産業集積を活かしながら複数の拠点をネットワークで結ぶ「分散型」のサイエンスパークを目指している。核となる4自治体のエリアは以下の通り。

① 菊池市

菊池市では、サイエンスパークを構成す

る重要な「産業集積地」として、県が工業団地の開発を加速させている。

菊池テクノパーク等の拡張として既存の団地に隣接する約25haが新たに造成されており、2027年度末に引き渡しを予定している。

② 合志市

合志市は、「熊本県セミコンテクノパーク」の周辺エリアをさらに拡張し、ソニーや東京エレクトロンが集積するセミコンテクノパークのエリア周辺で、新たな工業団地造成が進んでいる。約11haの規模となる「合志市東部工業団地」で、周辺では高規格道路「中九州横断道路」の整備や県道の多車線化が進められるなど、更なる交通アクセスの向上が見込まれる地域となっている。

また、熊本電鉄御代志駅等を擁する好立地に駅前広場や都市計画道路を整備する土地区画整理事業が進行中。防災性と利便性の向上、商業・住宅等の立地促進により、都市の機能拠点としての整備を進め2027年度に事業完了予定。

③ 大津町

阿蘇くまもと空港へのゲートウェイである大津町では、JR肥後大津駅周辺の再整備として橋上駅舎化と南北自由通路の整備、バス転回広場（ロータリー）の整備

空港アクセス鉄道との接続などの計画が進んでいる。またJR九州が手がけるエリア最大級の賃貸オフィスビル（7階建て）が着工した。

また、国道202号の周辺には物流施設の建設が進んでいる。さらに半導体関連企業の立地を目指し、敷地約9.8ha規模の工業団地開発計画も動き出した。

さらに、急増する就業者に対応するため、駅周辺へのホテル・商業施設誘致、高機能マンション開発が進んでいる。

④ 菊陽町

JASMが立地する菊陽町は、様々な都市開発が進んでいる。「原水駅周辺土地区画整理事業」として、JR原水駅の周辺で、

大規模な区画整理事業が進められている。2025年度に策定された構想に基づき、エリア内を「産業・研究ゾーン」と「商業・住宅ゾーン」に分離。大学の研究機関の誘致が柱となっており、半導体人材の育成と先端技術の紹介を兼ねた産学官連携の「半導体ミュージアム」の構想も明らかになった。さらに三里木駅―原水駅間に設置される新駅（2027年度開業予定）を核に、民間事業者と連携した取組みが進められている。

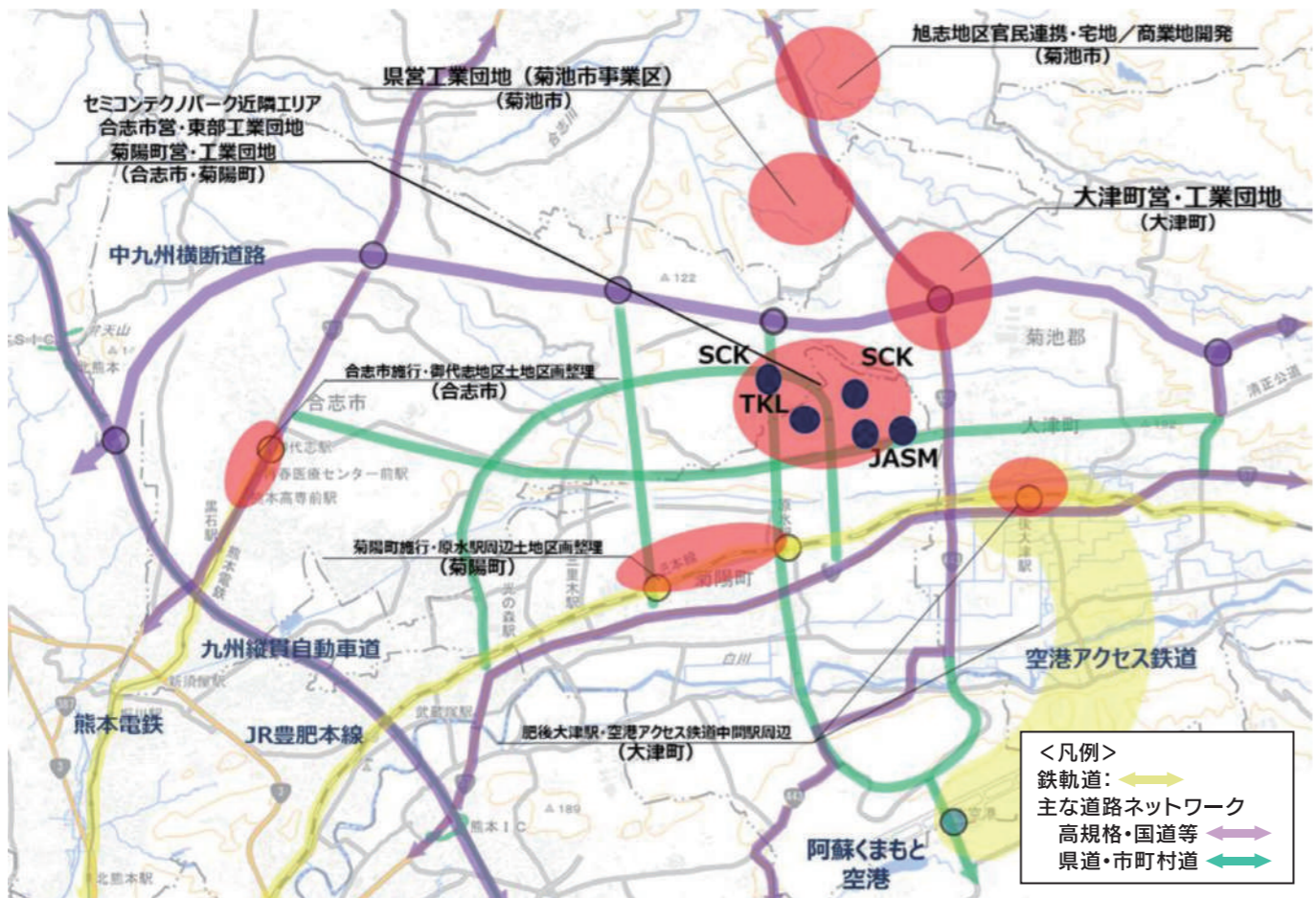
またJASMの第1工場の南側に約24.2haの規模で、新たに工業団地を整備する計画もある。

Topics

くまもと半導体グリーンイノベーション（KSGI）協議会が設立

2025年2月21日、半導体関連産業の集積と技術の発展を推進するため、産学官金が連携して「くまもと半導体グリーンイノベーション協議会」が設立。本協議会では、半導体技術の発展はもとより、半導体を活用

した社会課題を解決するため、プロジェクトの発掘及び支援、更には人材育成の取組みを推進。テーマとして人材育成、地域共生&G、ダイバーシティ、ビジネス創出の4つを掲げ、専門部会を設けて取組んでいます。



セミコンテクノパーク周辺地域における拠点の分布状況と将来の交通ネットワーク



中九州横断道路の整備推進

熊本市と大分市を結び九州の横軸となる中九州横断道路の整備が推進。2025年4月には熊本環状連絡道路が新規事業化され、企業集積地等と熊本市中心部及び熊本港を結び、物流・人流の効率化等が期待されています。



菊陽空港線は26年度開通予定

阿蘇くまもと空港方面とのアクセス向上を目的に菊陽町と合志市を縦に結ぶ菊陽空港線は、渋滞緩和が期待されており、26年度の開通に向け工事がピークを迎えています。



熊本都市圏 熊本西環状道路(池上 熊本駅IC~花園IC)が開通

熊本都市圏の道路ネットワークの骨格となる熊本西環状道路(池上熊本駅IC~花園IC)が2025年10月に開通。熊本市中心部の交通渋滞の緩和や所要時間の短縮など様々な開通効果が確認されています。(写真:熊本市提供)



大津植木線多車線化及び合志ICアクセス道路が着工

セミコンテクノパーク周辺交通の主要な縦・横軸として、大津植木線多車線化約4.7km、合志ICアクセス道路約3.5kmが2025年に着工しました。大津植木線多車線化区間の主要な交差点では立体化が予定されています。(写真:県道大津植木線)



熊本県内道路の整備状況

熊本都市圏・セミコンテクノパーク周辺のアクセス向上へ

慢性的な渋滞解消に向け、熊本県では道路整備と公共交通の利用促進を一体で推進。熊本都市圏やセミコンテクノパーク周辺では、渋滞解消に向けて、多車線化や立体交差の整備が進んでいます。



直近の道路開通状況 2025.10.19開通 熊本西環状道路「池上熊本駅IC~花園IC」

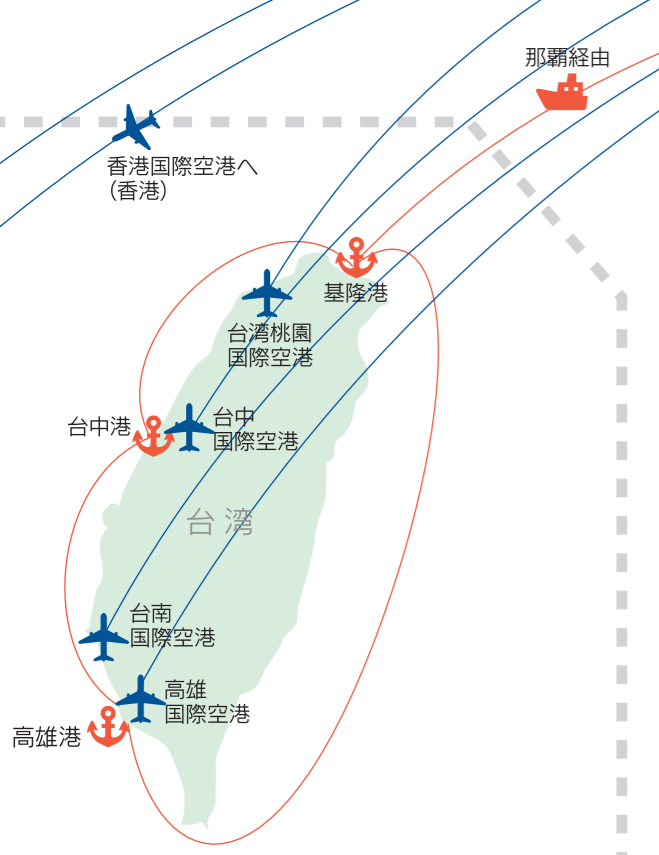
新幹線
博多まで最速33分
新大阪まで最速2時間58分

飛行機

羽田—熊本	90分
成田—熊本	100分
静岡—熊本	80分
小牧—熊本	80分
中部—熊本	85分
伊丹—熊本	65分
沖縄—熊本	90分
伊丹—熊本—天草	140分 (トランジット含む)
福岡—天草	40分
韓国・ソウル—熊本	100分
韓国・釜山—熊本	85分
台湾・台北—熊本	150分
台湾・台中—熊本	150分 [NEW!]
台湾・高雄—熊本	160分
台湾・台南—熊本	160分 [NEW!]
香港—熊本	220分
中国・上海—熊本	130分

国際コンテナ定期航路等

神戸—熊本	2日
神戸—八代	2日
釜山—熊本	2日
釜山—八代	2日
台湾—八代	4日



阿蘇くまもと空港 Topic

阿蘇くまもと空港に国際航空貨物上屋を整備

2025年5月2日に、阿蘇くまもと空港を運営する熊本国際空港株式会社が、国際航空貨物の取り扱いを強化・充実するため、国際航空貨物上屋を整備し開所。大型・大量貨物の取扱いや、駐機場隣に整備することで貨物の円滑な搭降載、通関手続きが可能となりました。



熊本県内の航路、空路の状況
世界とつながるアジアゲートウェイ

生産や物流、営業の拠点が集中する交通要衝地、熊本。近年は半導体世界大手・TSMC進出を機に中国・台湾をはじめ東アジアへの新規路線開設が相次いでいます。陸・海・空それぞれの玄関口の整備が進んでおり、グローバルな事業展開を後押ししています。



機能充実化が進む 国際物流拠点 八代港・熊本港

韓国・台湾との国際コンテナ定期航路と神戸港との国際フィーダーコンテナ航路が就航する八代港及び熊本港は、寄港地に加えトランシップで北米や欧州など世界各国との貨物の輸出入が可能な国際物流拠点。

八代港 Topic

熊本県内最大の貿易港として南九州の主要産業を支える八代港は、九州西部の中央に位置し、九州縦貫自動車道等を通じて南九州各県へ優れたアクセス性を誇っています。2021年には台湾航路が新規就航し、翌年には小口貨物の積合・積卸に対応し、温度管理も可能な「CFS倉庫」の供用が開始され、国際物流拠点としての機能がさらに強化されています。

- 国際コンテナ定期航路**
- 八代港⇄釜山港
 - 八代港⇄台湾各港 (基隆、台中、高雄)
- 国際フィーダーコンテナ航路**
- 八代港⇄神戸港
- 2026年2月末時点



台湾との国際コンテナ定期航路が就航



高潮対策のコンテナ流出防止柵 CFS倉庫 (小口貨物積替上屋)

熊本港 Topic

2025年に新たなガントリークレーンが配置された熊本港は、熊本市の海の玄関口として市街地とのアクセスが良好。県北部の半導体関連企業の集積地とは、高規格道路で結ばれる計画が進められており、産業拠点との連携強化が期待されます。さらに、国による耐震強化岸壁工事が進められており、災害時にも安定した物流を確保できる港湾基盤が整備されるとともに、地域産業を支える重要な物流拠点として発展を続けています。

- 国際コンテナ定期航路**
- 熊本港⇄釜山港
- 国際フィーダーコンテナ航路**
- 熊本港⇄神戸港
- 2026年2月末時点



手前が新ガントリークレーン、奥が予備基



2024年6月8日 耐震強化岸壁着工式

Check!

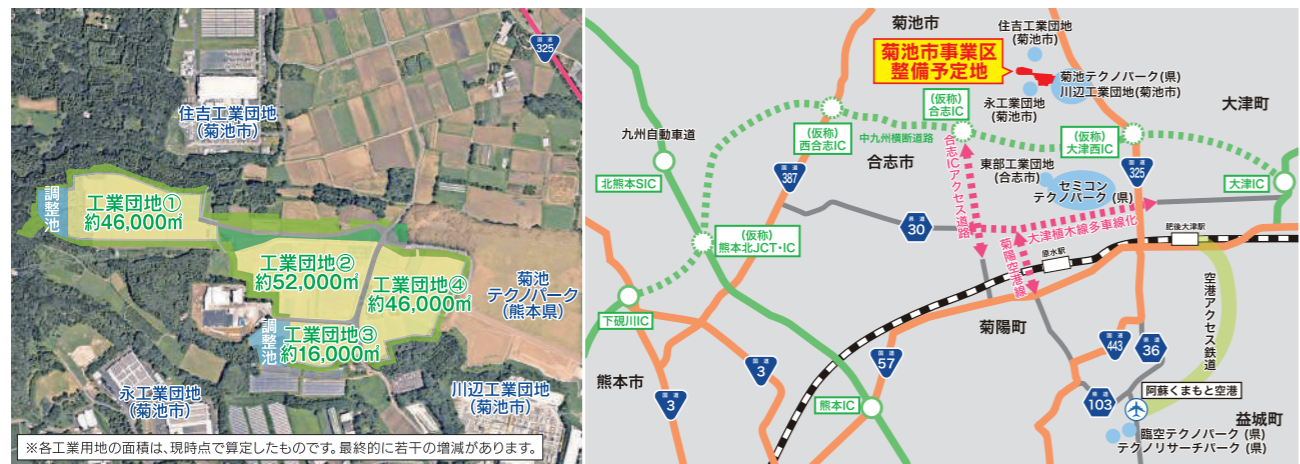
熊本県ポートセミナーを開催

2025年11月に八代港・熊本港の両ポートセールス協議会等が、両港の認知度向上と利用促進を図るため、船社、荷主企業等を対象としたセミナーを熊本県内で開催。知事、八代・熊本両市長によるプレゼンテーションのほか、港を視察するバックヤードツアーも初めて実施しました。



Pick up! 熊本県新規工業団地

2027年度(令和9年度)分譲予定! 県営工業団地・菊池市事業区 1★



- 場所**
熊本県菊池市旭志川辺、同市泗水町永
- 開発面積**
約25ha(有効面積:約16ha)
- 半導体関連企業が集積する
セミコンテクノパークまで **5.5km** 車で10分
 - 大津西ICまで **3km** 車で5分
 - 熊本空港まで **11km** 車で20分

熊本県内の工業団地整備状況

半導体から物流まで。 多様なニーズに応える工業団地

熊本県内では分譲中の工業団地のほか、新規の工業団地整備が進んでいます。九州の中心に位置する恵まれた環境で、多様な産業ニーズに対応します。大規模立地もお任せください。



2028年度(令和10年度)分譲予定! 県営工業団地・八代市事業区 3★



- 場所**
熊本県八代市岡町、興善寺町
及び千丁町吉王丸
- 開発面積**
約25ha(有効面積:約18ha)
- 八代ICまで **3km** 車で5分
 - 新幹線新八代駅まで **3.5km** 車で6分
 - JR千丁駅まで **2km** 車で4分
 - 八代港まで **14km** 車で20分

既工業団地

番号	整備主体	名称	残区画数	残面積
1	熊本県	名石浜工業用地	1	約5.7ha
2	熊本県	熊本港臨海用地 (第二次分譲地)	6	約5.2ha
3	津奈木町	津奈木工業団地	1	約4.0ha
4	錦町	錦町一武工業用地	1	約1.5ha
5	あさぎり町	西の迫工業団地	1	約0.8ha

新規工業団地 ※計画・造成中

番号	整備主体	計画面積	分譲時期(予定)
1	★熊本県	約25ha	2027年度中
2	熊本県	約25ha	調整中
3	★熊本県	約25ha	2028年度中
4	熊本市(3箇所)	約45ha	2026年度以降
5	民間・玉名市 (官民連携型)	約25ha	分譲中
6	山鹿市	約15ha	2029年度中
7	合志市	約11ha	分譲中
8	大津町	約10ha	2027年度中
9	菊陽町	約24ha	2031年度中
10	西原村	約12ha	分譲中
11	益城町	約9ha	予約分譲中

2026年3月31日現在

八代から全国へ次代の住環境を拓く 高性能窓の生産強化で持続可能な未来へ

YKK AP(株) 九州製造所

〒866-8511 熊本県八代市新港町1-10
TEL:0965-37-1111



▲YKK AP(株)九州製造所

- 代表者/九州製造所長 村上 肇
- 操業/1975年2月
- 従業員数/900名 ※2025年4月時点



▲商品展示施設「P-STAGE八代」では窓の断熱性能の違いを体感できる



▲フェンスやポストなど多様なエクステリア商品を展示する「エクステリアパーク」

エクステリア商品の主要拠点
窓やドア、サッシなどの住宅・ビル用建材からエクステリア商品まで国内外で幅広く事業を展開するYKK AP(株)。1975年2月、八代の地に操業したYKK AP(株)九州製造所は、アルミ建材の一貫生産ラインを有し、住宅・ビル用窓、エクステリア商品、産業用形材を生産し、九州圏内および全国各地へ供給している。東京ドーム約7個分に相当する広大な敷地内には工場棟のほか、ガーデンエクステリアの世界をわかりやすく提案する「エクステリアパーク」や、窓の断熱性能を比較体験することができる商品展示施設「P-STAGE八代」を併設し、「コミュニケーション基地」としての役割も担っている。さらに、エクステリア施工技術研究所「DO SPACE九州」を開設し、施工者の育成や施工技能の伝承を推進することにより、エクステリア業界の発展やユーザー満足度の向上に貢献している。

同製造所が八代市に進出する決め手となったのは、八代港をはじめ高速道路やJRが整った物流環境と九州の中央に位置する立地優位性だ。1973年にYKK(株)創業社長である吉田忠雄氏自らがこの地を訪れて誘致契約を締結し、75年に操業を開始。
近年、需要は従来のアルミサッシから断熱性能に優れた樹脂窓へと急速にシフト。省エネ基準の強化や環境意識の高まりを受け、同製造所ではアルミ樹脂複合窓に加え、高性能樹脂窓「APW」シリーズの生産体制の構築を進めている。室内の温度差を抑える高性能窓は、寒暖差の激しい九州でのヒートショックを防ぐなど安全面の向上にも寄与。快適かつ安全な住環境づくりを支える重要な役割を果たしている。こうした製品の安定供給を支えるのが、製造設備のスムーズな稼働だ。DXや自動化が進むほど、設備保全の重要性は高まる。同製造所は「保全道場」を設け、現場の一人ひとりが設備の構造を理解し、日常的なメ

2005年に操業50年を迎えた同製造所は次の半世紀を見据えている。定年制度を廃止し労働環境の改善を進めるほか、熊本県の「プライト企業」に認定されるなど世代を超えて働きやすい職場づくりに注力する。村上製造所長はこれまで地域に支えられてきた感謝を忘れず、熊本県や八代市に必要とされる存在であり続けたいと語る。地域とともに歩む拠点として、YKK AP(株)九州製造所の挑戦は続く。

チーム力で地域とともに次の50年へ
これまでに熊本地震や豪雨災害などの困難に直面してきた。東日本大震災の教訓を生かしたグループ全体のBCPに基づき、全国拠点の支援と従業員の強固なチーム力によって早期復旧を実現。仮設住宅向け建材の供給にも尽力し、地元根差すメーカーとして地域住民の暮らしを支えてきた。近年相次ぐ気象災害を見据え、防災に強い拠点づくりをさらに加速させている。



村上 肇 製造所長



▲45.4万㎡の広大な敷地に展開する有明工場

- 工場代表者/工場長 川原 俊
- 工場操業年/1973年
- 従業員数/233名(2026年2月時点)



▲プロセス機器部門で製造するLNG(液化天然ガス)の吸着塔



▲使用済核燃料の輸送・貯蔵を担うキャスク(写真は貯蔵用)

社会インフラを根底から支えるマザープラント 世界規模で脱炭素社会の実現に挑む

カナデビア(株) 有明工場

〒869-0113 熊本県玉名郡長洲町有明1
TEL:0968-78-2155

船舶部門・陸機部門の両輪で発展
2024年10月、日本の近代産業を支え続けてきた日立造船(株)は、「カナデビア(株)Kanadevia Corporation」へと社名を変更した。「奏でる」とラテン語で道を意味する「via」を組み合わせたこの名前には、技術の力で人類と自然の調和に挑み、新しい道を切り拓くという強い意志が込められている。長洲町に位置する有明工場は同社の中で最大かつ最新鋭の生産拠点であり、その広大な敷地と世界レベルの設備を武器に、地球規模の課題解決に向けたモノづくりを推進している。

現在、有明工場で注力しているのは、私たちの生活を根底から支える社会インフラ製品の製造。主な製品は、化学プラント等で使用されるプロセス機器や、国内外の原子力発電所で使用される原子力関連機器「キャスク・キヤニスタ」使用済核燃料の輸送・貯蔵容器、大型船舶を動かす原動機「船舶用エンジン」、そしてトンネル掘削などに使われる「シールド掘進機」など。
工場内には、厚さ300mmの鋼板を成形できる10,000トンプレスや、3500トンの吊り上げ能力を持つクレーンを2基備えた大型組立工場など、世界最大級の生産設備が並び、川原工場長は、「この地域には地元愛が強く非常に意識

長洲町から次世代技術を発信
同社が見据えるのは、カーボンニュートラル社会の実現。すでに、従来の重油に代わるメタンノールやエタノール、アンモニアなどの次世代燃料に対応したエンジンの開発を進めており、環境負荷を低減した持続可能な物流の実現を目指す。また、CCS(二酸化炭素回収・貯留)向けの圧力容器や、再生可能エネルギーとして期待される洋上風力発電設備など、脱炭素化に資する製品開発にも余念がない。
地域社会との共生も重要なテーマと位置付け、長洲町の行事への積極的な参加や、今秋「ユニーク」の寮を避難場所として提供するなどの検討など、災害時にも地域を支える拠点としての役割を強化している。カナデビア(株)有明工場は、これからも世界中の人々の生活と地球環境を守るため、熊本から確かな技術を奏でていく。

高い人材に恵まれている。皆で一緒に考え、チームで一つの大きな製品を作り上げていく面白さがここにはあると、熊本での事業の魅力を語る。工場内に併設の技能研修所では若手への技術伝承を計画的に行い、熊本の地で長く活躍できる人材を育成している。



川原 俊 工場長

ビジネスマッチング、 技術・開発研究をサポート

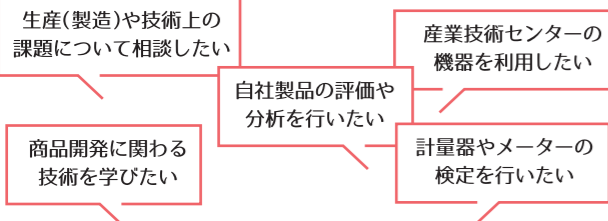


熊本県でビジネスマッチングの相談はくまもと産業支援財団、
そして技術・開発研究に関する相談は熊本県産業技術センターが、
挑戦する企業の新規取引開拓や研究・開発から
事業化までを伴走支援しています。

熊本県産業技術センター

熊本県内製造業の“技術部”として 「売れる・儲かる・持続可能なものづくり」をサポート

産業技術・農林水産物の加工に関する研究開発や
指導、支援、適正な計量の実施の確保を行い、熊本
県内産業の振興を図ることを目的に熊本県が設置し
た技術支援機関。熊本県の産業全体を一つの会社に
例え、その会社全体が「売れる・儲かる・持続可能な
ものづくり」を行っていくための“技術部”として、企
業のサポートに取り組んでいます。



熊本県産業技術センター

熊本県熊本市東区東町 3-11-38
TEL 096-368-2101



熊本県産業技術センターの外観



電界放出形走査型電子顕微鏡(開放機器の1つ)。試料に電子線を照射し、放出される電子等を検出することによって、微細構造を観察したり元素分析を行ったりする装置

技術相談の事例：画像処理技術を活用した箱詰めロボットシステムの開発

くまもと産業支援財団 ビジネスマッチング推進室

ものづくり中小企業の ビジネスマッチングを支援

熊本県内のものづくり中小企業の新規顧客開拓や
受注量の確保等をサポート。職員や東京・大阪のビ
ジネスエージェントによる案件の紹介や、商談会の開
催を通して、熊本県内受注企業と県内外の大手メー
カー等の発注企業との取引あっせんを行っています。
ウェブサイト上では熊本県内登録企業情報を閲覧
でき、所在地・加工内容・主要設備などから検索も
可能です。

(公財)くまもと産業支援財団 ビジネスマッチング推進室

熊本県上益城郡益城町田原 2081-10
TEL 096-289-2437



益城町にあるくまもと産業支援財団(R7.6月に電子応用機械技術研究所内に移転)



例年開催している「くまもとのものづくり商談会」

ビジネスマッチング推進室のスタッフ

万全の支援体制

熊本県は幅広い業種に対応した
補助金や人材確保の支援制度などが充実しています。
さまざまな優遇措置で立地・事業拡大を強力にサポート。
企業立地に関する情報は「企業立地ガイド熊本」をチェック!



企業立地ガイド熊本 検索

製造業・運輸業向け

熊本県企業立地促進補助金

- 対象：投資額3億円以上かつ雇用5人以上
※業種により投資額及び雇用の条件に相違あり
[研究開発業]5千万円以上かつ3人以上(投資額の5~10%)
[外資系企業]基準なし(投資額の5%)
[大規模投資企業]200億円以上かつ200人以上の新設企業
(投資額の8~15%)
[物流施設]1億円以上かつ5人以上(投資額の3%)
- 補助金額：
①投資額×2~15%
②新規雇用者50万円/人(~49人)・60万円/人(~99人)
70万円/人(100人~)
※非正規社員は助成金額の1/2 ※派遣社員、県外居住者は対象外
※過疎法、離島法、半島法の適用地域への新規雇用分の算定は助成金額の5割増
- 限度額：50億円

ノンアセット型物流企業の 賃貸料等を支援!

- 対象企業：マルチテナント型物流施設等に入居する企業
※道路貨物運送業、貨物運送取扱業、港湾運送業、
梱包業、卸業及び小売業
- 補助内容：設備投資(土地・建物は含まず)や雇用に対
する支援に加え、事業所の年間賃借額(操
業から1年間の)1/2(上限あり)を支援。
- 限度額：1億円

荷主企業等向け 国際コンテナ利用拡大助成事業

新規利用企業

- 対象：前年度に熊本港又は八代港を利用したコンテ
ナ貨物の輸出入がない荷主企業^{※1}
- ※1 国際コンテナ利用拡大助成金の交付を受けていない
- 助成金額：1TEU当たり2万円
- 上限金額：なし^{※3}

継続利用企業

- 対象：前年度に熊本港又は八代港を利用したコンテ
ナ貨物の輸出入がある荷主企業^{※2}
- ※2 国際コンテナ利用拡大助成金の交付を受けている
- 助成金額：1TEU当たり1万5千円
- 上限金額：なし^{※3} ※3 予算の範囲内での助成

県内地域へ進出を お考えの企業向け

熊本県県南地域進出候補先視察費補助金

熊本県では、県南地域への企業誘致を促進するた
め、県南地域の立地環境等を視察する企業に対
し、交通費や宿泊費の一部を補助しています!

- 視察対象地域：宇城地域、八代地域、水俣・芦北地域、
人吉・球磨地域、天草地域
- 補助対象経費：交通費及び宿泊費
- 補助上限額：1企業20万円を上限
※1人当たりの上限額は、出発地域により異なります。

誘致企業等と県内高等学校・専門学校等との 情報交換会

優秀な人材を確保したい誘致企業等と、企業の情報を知りたい学校の就職担当者との情報交換会を開催。個別面談や名刺交換などを行い、ネットワークづくりや活発な情報交換の機会を提供しています。



大都市圏等からの人材確保

くまもと移住定住・UIターン就職支援センター

熊本、東京、大阪、福岡にある相談窓口で、熊本へのUIターン就職を希望する大都市圏等在住者と県内企業とのマッチングを無料でサポート。また、求職者が採用試験を受けるための交通費及び宿泊費を最大3.5万円助成しています。



熊本県UIターン就職支援サイト



熊本の誘致企業発掘サイト



ハタラクト

熊本県内の若者や保護者らを対象に、熊本県の誘致企業を身近に感じてもらい、誘致企業で働く魅力を発信するウェブサイト。学校のキャリア教育とも連携し、誘致企業の認知度向上に貢献しています。

81
事業所
掲載中
(2026年2月現在)

詳しくはコチラをご覧ください



熊本で働く人がいきいきと輝く!

それが「ブライ企業」

熊本県では、働く人がいきいきと輝き、安心して働き続けられる企業を「ブライ企業」として認定することで、県全体の労働環境や処遇の向上を図り、若者の県内就職を促進します。認定されると、県主催の企業説明会やセミナー等に優先的に参加できます。

546社認定!
(2026年1月末現在)



ワンストップジョブサイト



YouTube
熊本県ブライ企業
PLUSチャンネル



認定を受けた事業所は、ブライ企業シンボルマークを社員用の名刺等に表示することができます。

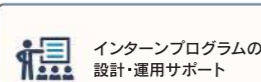
- 従業員とその家族の満足度が高い
- 地域に雇用を生み出している
- 地域社会・地域経済への貢献度が高い
- 安定した経営を行っている

人材確保コンシェルジュ派遣事業

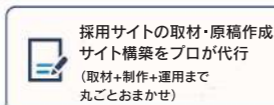
事業概要

人材確保に悩みを抱える企業に向け、採用に関するあらゆる側面からの伴走型支援を行う専門家(人材確保コンシェルジュ)を無料で派遣しています。熊本県労働雇用創生課 (TEL: 096-333-2341)

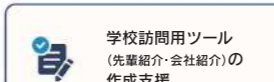
実際の支援例



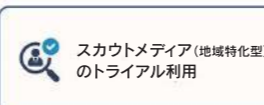
インターンプログラムの
設計・運用サポート



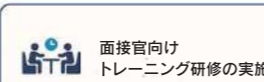
採用サイトの取材・原稿作成・
サイト構築をプロが代行
(取材・制作・運用まで
丸ごとおまかせ)



学校訪問ツール
(先輩紹介・会社紹介)の
作成支援



スカウトメディア(地域特化型)
のトライアル利用



面接官向け
トレーニング研修の実施

熊本県の人材確保支援

熊本県では教育機関や各種支援機関と連携し、
企業の人材確保や人材定着に向けた取り組みをサポートしています。

県内高校生を対象とした

企業誘致連絡協議会会員企業見学ツアー

県内の高等学校(公立及び私立の高等学校、定時制を含む)を対象に、県内就職を促し、会員企業の人材確保を支援するため、協議会会員企業を見学するツアーを実施しています。



県南地域の高校生や専門学生等を対象とした

県南地域の企業見学ツアー

県南地域の高校生や専門学生等を対象に、県南就職を促進するため、市町村と連携して県南地域の企業について理解を深める企業の見学ツアーを実施しています。



県南地域の高校生を対象とした

県南地域(誘致企業等)の職業体験研修事業 (人吉・球磨地域において重点的に実施)

県南地域の高校生を対象に、県南地域の市町村や誘致企業等と連携した職業体験研修を実施しています。



県内大学生等を対象とした

日台学生交流推進事業

県内大学生等を対象に、半導体産業への関心と理解を深め、将来必要とされる職業観と国際感覚の醸成を図るため、訪台し現地の学生との交流を行うとともに半導体関連企業の工場見学、アジア最大級の半導体展示会セミコン台湾の視察を実施しています。





NEWFACE 4

総合物流企業として
国内外の多彩な産業を支えています

㈱日新 熊本ロジスティクスセンター

陸・海・空を組み合わせた「国際複合一貫輸送サービス」で、国内外産業の物流ニーズに応えています。
世界23の国と地域の167拠点、国内129拠点を9月には熊本新倉庫を追加し、これからも人々の生活と産業を支える物流インフラとして、お客様や取引先企業様の発展を支えるビジネスパートナーとして、社員が安心して働き、成長しながら活躍できる職場として、豊かな未来を目指し、「感動」と「笑顔」をお届けしてまいります。

- ◆所在地/東京本社:東京都千代田区麹町1-6-4
横浜本店:横浜市中区尾上町6-81 ニッセイ横浜尾上町ビル(熊本ロジスティクスセンター:大津町高尾野西高尾野730)
- ◆設立/1938年12月
- ◆代表者/筒井 雅洋
- ◆従業員数/1,646名、うち熊本事業所15名予定
- ◆事業内容/国際輸送、国内輸送、倉庫、港湾運送、通関、船舶代理店、引越、旅行事業、不動産事業



NEWFACE 3

世界中の人の「健康」と「美」に貢献する
総合受託(ODM&OEM)メーカー

㈱東洋新薬 熊本工場

健康食品や化粧品、健康・美容器具など「健康」と「美」を事業領域とする総合受託メーカーです。商品企画から処方設計、製造・配送、販売促進支援まで一貫して提供し、エビデンスの質にこだわった独自素材やトクホ・機能性表示食品などの研究開発力や徹底した品質保証体制を強みとしています。熊本工場では高品質な大麦若葉などの青汁原料の栽培から一次加工まで行っています。今後も付加価値の高い製品を提供してまいります。

- ◆所在地/福岡市博多区博多駅前2-19-27 九勤博多駅前ビル(熊本工場:大津町高尾野272-5)
- ◆設立/1997年9月
- ◆代表者/服部 利光
- ◆熊本工場/TEL096-340-3555
- ◆従業員数/1,253名(2025年9月末現在)
- ◆事業内容/健康食品、機能性表示食品、トクホ、化粧品、医薬部外品、健康・美容器具および雑貨、一般医療機器、医薬品の受託製造、販売、研究、開発。健康食品、化粧品等の発送代行 ほか

NEW FACE

2025年 新会員紹介



©2010熊本県くまモン

本コーナーでは、新会員の皆様をご紹介します。
今回は新たに6社の皆様にご入会いただきました。
心より歓迎申し上げます。
当協議会の活動を通して、
会員相互の交流を深めていきましょう。

(掲載は50音順)



NEWFACE 6

洗浄品質で、現場の願いをかなえる

路得潔淨股份有限公司 ルースクリーニンングテクノロジー

当社は30年以上の歴史を持つ、台湾最大規模のクリーンウェア洗濯工場です。2025年3月に初めての海外進出として、熊本に会社を設立しました。
また、2000年から20年以上にわたり、数多くの大手企業にサービスを提供して参りました。豊富な経験で、我々は洗濯から管理まで、洗浄計画の立案方法を深く理解しており、他社と比べても右に出る者はいないという自信を持っています。
今後も熊本との繋がりをより一層深めていきたいと存じます。

- ◆所在地/台湾新竹(ルースクリーニンングテクノロジー:西原村布田846-6)
- ◆設立/1993年
- ◆代表者/胡育誠
- ◆ルースクリーニンングテクノロジー/TEL050-5574-2439
- ◆従業員数/200名、うち熊本事業所6名
- ◆事業内容/クリーンウェアの販売・洗浄、クリーンルーム関連の消耗品の販売、クリーンルームの建設



NEWFACE 5

タイヤ製造を通じて、培ってきた技術を活かし、
モノづくりに貢献する

㈱平山GL 熊本出張所

㈱平山GLは、製造業を中心とした人材派遣・請負事業を軸に、企業の生産活動を総合的に支援する会社です。現場力を重視した人材育成と品質・安全・生産性向上を両立する運営体制を強みとし、タイヤ製造で長年培ったノウハウでお客様の課題解決に貢献しています。国内外の人材活用や柔軟な提案力により、持続的な成長と安定した事業運営を力強くサポートし、地域社会にも広く貢献しています。

- ◆所在地/福岡県朝倉市小田2016-1(熊本出張所:玉名市河崎600)
- ◆設立/1972年11月
- ◆代表者/松岡 孝二
- ◆熊本出張所/TEL0946-24-3760
- ◆従業員数/297名、うち熊本事業所8名
- ◆事業内容/タイヤ、スチールコード生産の付帯作業の受託、労働者派遣事業、プリチストンの工場の建物・構築物の営繕、緑化管理(庭園樹木剪定、緑地メンテナンス)



NEWFACE 2

ガスタータルシステムにより、
安心・安全なガス供給をお約束します

エア・ウォーター㈱ 熊本ガスセンター

エア・ウォーター・グループは、半導体製造にかかわるガスとケミカルの事業領域を融合し、エレクトロニクス産業向けに、ガス・電子材料・関連部材に至る幅広い商品・サービスの提供を行っております。熊本ガスセンターでは、お客様の工場の隣接地にガス発生プラントを設置し、半導体の製造に欠かせない種々の高純度ガスを24時間安定供給するガスタータルシステムを構築し、安心・安全なガス供給をお約束します。

- ◆所在地/大阪府中央区南船場2-12-8(熊本ガスセンター:合志市竹迫220-1)
- ◆設立/2000年4月
- ◆代表者/松林 良祐
- ◆熊本ガスセンター/TEL096-285-8157
- ◆従業員数/20,000名、うち熊本事業所6名
- ◆事業内容/半導体工場向け高純度ガス製造



NEWFACE 1

物流を通じて、地域発展に貢献します

一宮運輸㈱ 熊本支店

当社熊本支店は、1979年に熊本県へ進出し、1998年より現在の大阪府に営業所を構えております。近隣の半導体工場を含め、九州圏内の工場への化学薬品の輸送および保管業務、また、ホームセンター向けのセンター業務をメインに活動しております。
物流を通じて半導体産業と地域発展を支えていることを誇りに思い、今後益々の発展となるよう、社員一同、邁進していく所存です。
輸送や保管のご依頼がありましたら、お気軽にご相談ください。

- ◆所在地/愛媛県新居浜市西原町2-4-36(熊本事業所:大津町杉水中谷3732)
- ◆設立/1961年12月
- ◆代表者/増田 幸徳
- ◆熊本支店/TEL/096-294-9138
- ◆従業員数/1,545名、うち熊本事業所56名
- ◆事業内容/一般貨物運送事業、倉庫業ほか



2025年度 事業紹介

2026年3月7日(土)

会員交流 ボウリング大会及び懇親会

スポーツ熊本
(熊本市中央区)
壱之倉庫
(熊本市中央区)



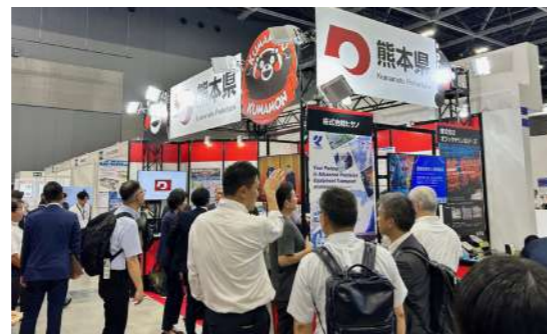
100名を超える皆様に参加いただき大変盛り上がりました。

2025年10月8日(水)～9日(木) 県共催

第2回[九州]半導体産業展 出展

マリンメッセ福岡(福岡県福岡市)

今年2回目開催となる九州の半導体産業に特化した展示会であり、当日は多くの方に熊本県ブースへお立ち寄りいただき本協議会及び県内立地環境PR等を行いました。



2025年9月25日(木)～26日(金)

東京ゲームショウ2025 出展

幕張メッセ(千葉県千葉市)

世界最大級のゲーム展示会である東京ゲームショーに出展し、IT・コンテンツ系企業を中心に、本県及び協議会のPR等を行いました。



2025年7月1日(火)

通常総会

ホテル日航熊本(熊本市中央区)

役員選任、2024年度事業・収支決算報告及び2025年度事業計画・予算案等の議案が承認されました。また、入退会状況報告では新規会員8社を紹介しました。

総会後の交流会では、200名以上の参加があり会員間の活発な意見交換を図ることができました。



2025年6月9日(月)

第1回幹事会

熊本県庁
会議室



2026年3月12日(木)

第2回幹事会

熊本県庁
会議室



2026

3

2

1

12

11

10

9

8

7

6

5

2025

4

Epochal
vol.40発行

2026年1月20日(火)

県共催

熊本県半導体関連企業立地セミナー

ロイヤルパークホテル東京・日本橋(東京都中央区)

令和8年1月20日(火)、ロイヤルパークホテル東京・日本橋において、熊本県と合同主催で、くまもとサイエンスパーク構想に向けた展望・戦略等を共有するとともに、新たな事業展開の拠点として魅力的な本県の立地環境と、半導体産業を中心に盛り上がる熊本の今をご紹介しますため、「熊本県半導体関連企業立地セミナー」を開催しました。

企業立地セミナーとしては、令和4年度以来の開催となり、約200名の皆様にご参加いただきました。

講演後には、講師を囲んで交流会も行われ、多くの企業の方が情報交換されました。

- 講演1 「火の国・水の国・半導体の国」
熊本県立大学理事長(東京大学特別教授)黒田 忠広 氏
- 講演2 「KSGIが描く 次世代くまもと 半導体共創モデル」
くまもと半導体グリーンイノベーション協議会会長
(ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング
代表取締役社長)山口 宣洋 氏
- 講演3 「理化学研究所の総合的研究:
AI・半導体・量子・情報通信」
理化学研究所 理事 川崎 雅司 氏
- 講演4 「くまもと新時代、共に未来へ」 熊本県知事 木村 敬



2025年10月1日(水)～2026年3月10日(火)

高校生を対象とした協議会会員の企業見学ツアー(県内全域)

県内の高等学校(公立及び私立の高等学校定時制を含む)を対象に、県内就職を促し、会員企業の人材確保を支援するため、協議会会員企業を見学するツアーを行いました。



2025年12月17日(水)～19日(金) 県共催

SEMICON JAPAN 2025 出展

東京ビッグサイト(東京都江東区)

半導体製造装置や材料等に関する世界最大級の展示会に出展。

熊本での半導体関連企業の新たな進出や投資が相次ぐなか、半導体関連企業の更なる集積に向けた本県の取り組み及び協議会のPRを行いました。



2025年9月10日(水)～12日(金)

県共催

日台学生交流推進事業(台湾台北市・新竹市)

KSGI共催・協賛企業4社

熊本県内の大学生等12名が台湾を訪問し、台湾大学生との交流会や半導体関連企業の工場見学、展示会の視察を実施しました。

- 1日目 台湾平田機工を訪問
- 2日目 新竹サイエンスパーク視察、陽明交通大学訪問、TSMCミュージアム視察、台湾学生との交流(陽明交通大学・台北科技大学)
- 3日目 セミコン台湾2025視察



2025年6月9日(月)

熊本県市町村企業誘致担当者研修会

熊本県庁 会議室

2025年6月27日(金)

県共催

誘致企業等と県内高等学校・専門学校等との情報交換会

グランメッセ熊本(益城町)

会員を含む県内企業の人材確保に向けて、企業等の人事担当者と県内高等学校・専門学校等の就職担当者との情報交換会を開催しました。

会員企業等78社の人事担当者と高等学校・専門学校等39校の就職担当者など、約200名の方々に参加していただき、活発な情報交換会となりました。



<冊子の表紙>

素晴らしい自然と豊富な水資源に恵まれ、
 多様な農林畜水産物と豊かな食文化を誇る熊本。
 県では、そのポテンシャルを最大限活用し、
 農林畜水産物の高付加価値化や
 販路拡大を推進し、
 「食のみやこ熊本県」の創造に向けて
 取り組みを進めています。

うまさ三ツ星



食の魅力を
国内外にPR

「食のみやこ熊本県」
シンボルマーク

「食のみやこ熊本県」のPRにつ
ながる活動等、申請すればどなた
でも使用できます。ロゴマーク
を活用して、「食のみやこ熊本県」
の魅力を発信していきましょう!

【問い合わせ先】
食のみやこ推進局付
☎096-333-2874



食のみやこ熊本県

「食のみやこ熊本県」公式SNS

Instagram



TikTok



熊本発のブランド

ゆうべに(いちご)



上品な甘みと酸味

熊本の「熊」、果実の紅色から「べに」で「ゆうべに」と名付けられた。濃い紅色で粒が大きく、甘さと酸味のバランスが絶妙なのが特徴。

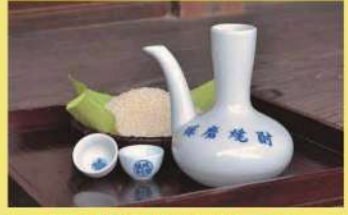
くまとあか牛(褐毛和種)



余分な脂肪が少ないヘルシーな赤身

日本の和牛4品種の1つで、国内肉用牛のうち0.6%と希少な牛。黒毛和牛に比べてうまみを感じさせる遊離アミノ酸が多く、甘みを担うグリコーゲンも豊富。

球磨焼酎



芳醇な香りと深いコク

日本に4つしかない産地呼称が認められた本格焼酎ブランド。清流球磨川がもたらす美しい水と豊かな大地で育てられた米から造る極上の本格焼酎。

熊本が全国に誇る主な農林畜水産物



第1位

トマト

生産量129.4千t (R6年)



第1位

すいか

生産量42.1千t (R6年)



第1位

不知火類(デコボン)

生産量16.2千t (R4年)

※JA熊本果実連登録商標



第2位

くり

生産量1.6千t (R6年)



第2位

まだい(養殖)

生産量9.3千t (R5年)



第3位

乾しいたけ

生産量147t (R6年)



第3位

生乳

生産量256千t (R6年)



第4位

肉用牛

飼育頭数133千頭 (R7年)

熊本県企業立地課

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6丁目18-1
 Tel 096-383-1111 (代表)
 Tel 096-333-2330 (直通)
 Fax 096-385-5797
 Mail kigyouricchika@pref.kumamoto.lg.jp

熊本県東京事務所

【くまとビジネス推進課】
 〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目3-16 (銀座熊本館3F)
 Tel 03-3572-5022
 Fax 03-3574-6714
 Mail toukyoujimusy@pref.kumamoto.lg.jp

熊本県大阪事務所

〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目1-3-2100
 (大阪駅前第3ビル21F)
 Tel 06-6344-3883
 Fax 06-6344-3807
 Mail oosakajimu@pref.kumamoto.lg.jp

■企業立地ガイド KUMAMOTO
<http://www.kumamoto-investment.jp>



■熊本県企業誘致連絡協議会 [エポカル]
<http://e-kbda.jp>

